

一般社団法人不動産建設データ活用推進協会設立のご案内

2023年6月

一般社団法人不動産建設データ活用推進協会

はじめに

我が国では、各産業界においてデジタルの活用や働き方改革の推進による生産性向上、イノベーションの促進に取り組んでいます。建設業界は市場規模約60兆円、不動産業界は約45兆円と両市場を合わせると100兆円という我が国においても主軸となる巨大産業市場です。

不動産、建設業界では、AI、IoT、ロボティクス、ブロックチェーンといったテクノロジーの活用や、デジタルトランスフォーメーションによる事業改革が着々と進んでいます。関連するスタートアップ企業も年々増加傾向にあり、業界内におけるオープンイノベーションも活発化しています。

また、昨年2022年（令和4年）5月には、改正宅地建物取引業法が施行され、不動産取引の電子化が全面解禁されました。政府国土交通省では、BIM、3D都市モデルPLATEAU（プラトー）、不動産IDといったデジタル施策を次々と打ち出しており、不動産、建設業界におけるデジタルの活用、推進について、日々急速に市場が整備されています。

デジタル化が急速に進む環境の下で、重要なテーマになってくるのが「データの活用」及び「デジタル人材の育成」であると考えています。当会では、データ活用で重要となってくる企業間連携、異業種連携の促進のためのマッチング、データを活用するビジネス企画や開発エンジニアなどDX人材の育成を目的とし、不動産、建設業界のデジタル化を推進して参ります。

ぜひ多くの皆様に参画いただきたく、何卒よろしくごお願い申し上げます。

一般社団法人不動産建設データ活用推進協会

当会の活動目的

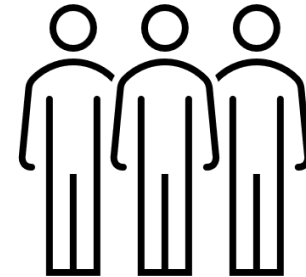
急速にデジタル化の取り組みが進む不動産、建設業界においてDX、デジタル活用による生産性の向上、新しい価値の創造を目指してデータの活用、デジタル人材の育成を目的に活動していきます。

不動産・建設業界の
データ活用推進



業界内のデータ整備、企業間連携・異業種連携を促進するために企業マッチング、交流機会を創出します。

不動産・建設業界の
デジタル人材育成



データ活用、デジタル活用を推進するための企画人材、データの分析、開発を実施するエンジニア人材の育成のための取り組みを実施します。

なぜ「不動産」と「建設」なのか

一般消費者、エンドユーザーから見れば不動産業、建設業といった区分は重要ではなく、日々の暮らしや生活の中で土地、建物や街を必要に応じて利用しています。利用者目線からより良い暮らし、生活を実現するため、スマートシティ、空き家問題、中古不動産流通活性化、環境負荷問題等の社会課題解決に取り組む必要があります。そのためには、建設業、不動産業をボーダレスに経済活動と暮らしの基盤産業とみて、開発・建設・建築から流通、管理、リニューアルまで一気通貫での利用者目線から見たデータの活用が重要だと考えています。

まちづくり



スマートシティ、イノベーション、環境負荷に配慮した都市開発

空き地・空き家活用



空き地・空き家活用と地方創生

オフィス、商業施設



働き方改革、REITや不動産投資のESG推進

中古流通・スマートホーム



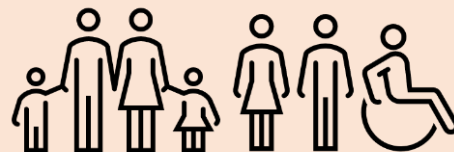
リフォーム、リノベーションの活用
STO、NFTによる資金調達

金融、インフラ、行政手続き



住宅ローンや住所変更手続き

利用者、エンドユーザー目線での
開発・建設・建築から流通、管理、リニューアルまで一気通貫で俯瞰したデータ活用の検討、推進



当会の概要

名称	一般社団法人不動産建設データ活用推進協会
設立	2023年（令和5年）4月3日 設立
所在地	東京都中央区日本橋兜町8番1号 FinGATE TERRACE2階
目的	不動産・建設業界におけるデータ活用の推進及びデジタル人材の育成
会員	当会の趣旨に賛同する一般会員、特別会員、賛助会員から構成される会員組織

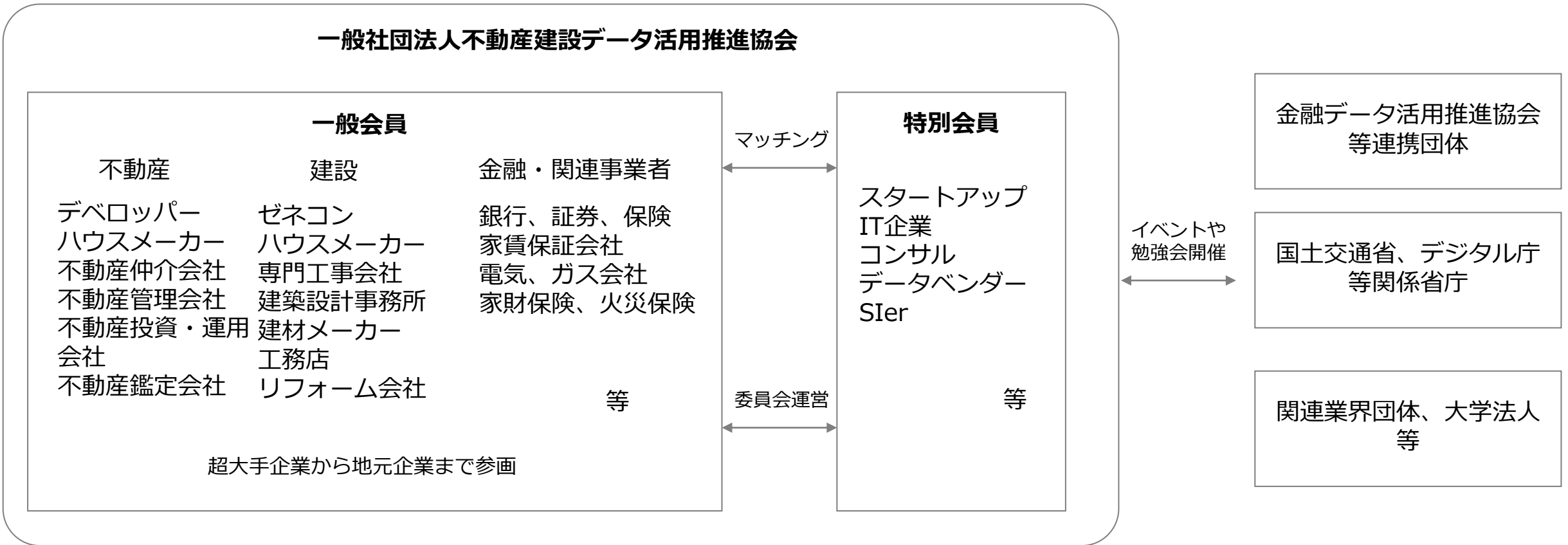
会員種別・アドバイザー制度

データ活用の主体となる不動産会社、建設会社、金融機関等は無料で参画可能です。

	一般会員	特別会員	賛助会員	政策アドバイザー
年会費	なし	20万円 ※会費は消費税非課税です	なし	なし
要件	不動産、建設、ハウスメーカー 建材メーカー、 金融機関等の事業会社	左記を対象顧客とするスタートアップ、IT企業、コンサルティングファーム、Sier、弁護士事務所等の事業会社	業界団体等非営利団体、自治体、大学法人	国土交通省、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現事務局
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> イベント、委員会等への参加、事業者間、スタートアップとの連携、オープンイノベーションの推進 関連団体、官公庁との情報交換、情報収集 希望に応じて委員会活動等協会活動の企画、運営への関与も可能 	<ul style="list-style-type: none"> 左記に加えて委員会活動等協会活動の企画、運営 	<ul style="list-style-type: none"> 協会活動に対する支援、協力 一般会員と同様の活動への参加も可能 	<ul style="list-style-type: none"> 協会活動に対する支援、協力

連携推進イメージ

民間企業が主体となり企業間連携はもちろん官民連携を推進するプラットフォームとなることで不動産、建設分野のデータ活用を強力に推進します。



大手企業、地元企業間、異業種間のデータ連携やマッチング、スタートアップとのマッチング、関係省庁、業界団体、大学法人、関係団体等との連携を推進します。

主な活動内容

不動産、建設業界におけるデータ活用、デジタル化推進のためにテーマや専門性に特化したマッチング、イベント等を企画、運営し活動していきます。

マッチング



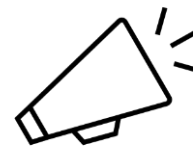
不動産会社や建設会社の業界間、異業種間連携やスタートアップ、IT企業との連携によるデータ活用を推進

委員会



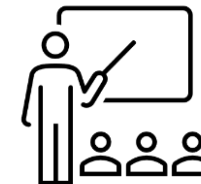
テーマ毎の委員会を会員ニーズに応じて設置・運営

イベント



データ活用事例の共有や、官庁からの制度説明、エンジニア向けデータコンペ、ハッカソンなど各種勉強会、イベントを企画運営

研修



外部講師や会員講師によるデータ戦略立案や、データ分析、活用のためのスキル開発研修の企画運営

不動産、建設分野のデータ連携、活用のためのプラットフォームとして各種活動を推進

委員会活動（候補イメージ案）

会員ニーズに応じて特定のテーマに特化した委員会を設置し、運営を行います。委員会では当該テーマに関心のある企業による勉強会、ビジネスモデルの検討や、特定技術の実証などを推進します。

設置される委員会テーマ候補イメージ

都市・交通データ委員会	地域産業振興データ委員会	脱炭素・ カーボンニュートラル委員会
行政手続きデジタル化委員会	空き家バンク委員会	商業施設ビッグデータ委員会
価格・賃料推計データ委員会	不動産オンライン取引API 委員会	出版委員会
資材オンライン受発注委員会	エネルギーデータ連携委員会	データ連携白書委員会

- 上記は委員会設置のイメージ案であり、当会発足後、会員に対する需要調査の上設置されます。
- 委員会への参加は任意です。特に意欲的に取り組みを推進する「委員会幹事企業」を委員会毎に公募して設置予定です。
- 委員会の内部には「分科会」を設置してトピックや議論粒度に応じて推進体制を構築予定です。

不動産建設デジタル人材の育成

不動産、建設業界におけるデータ活用を通じた事業企画、開発人材の育成を推進します。

活動イメージ

STEP1 デジタル人材の定義

不動産、建設領域におけるデジタル人材像とスキルセットの定義を実施します。

(例)

企画人材

- データ活用、デジタル戦略の立案
- データ活用、デジタルを活用したプロダクトやサービスなどの事業企画

開発人材

- データ化、分析などデータサイエンティスト人材
- プロダクト、サービスを実装できるエンジニア人材
- プロジェクトマネジメント人材

STEP2 デジタル人材養成

研修や講習に加えてデータコンペやハッカソンを実施し実践的な場を提供します。

(例)

インプット

- 最新のデータ活用事例やDB、分析手法の解説

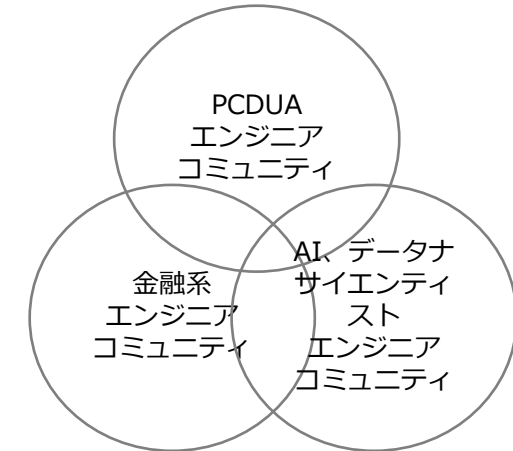
アウトプット

- 会員から提供されたデータを用いたデータコンペの開催（賃料推計や街の活性化分析など）
- 会員から提供されたデータ、事業課題を題材にしたハッカソンの開催

STEP3 デジタル人材コミュニティ

不動産、建設領域のデジタル人材をコミュニティ化し、実証プロジェクトの参画や他の人材コミュニティと連携します。

コミュニティ間連携のイメージ



イベントの共催や共同プロジェクトを実施

参考：一般社団法人金融データ活用推進協会の取り組み

金融業界では先行して一般社団法人金融データ活用推進協会が設立され活動を開始しています。2022年6月に設立されすでに100社を超える金融機関、スタートアップ等の会員企業が参画しています。



2022年に設立され、100社を超える金融機関、スタートアップ企業、IT企業が参画しています。

不動産建設データ活用推進協会とは、相互に賛助会員となることで共同イベントや共同勉強会の開催などの連携を実施する予定です。

当協会としても、不動産建設分野と親和性が高く今後一層重要となる金融分野連携を強化して推進する予定です。

今年度の活動予定

今後のスケジュール

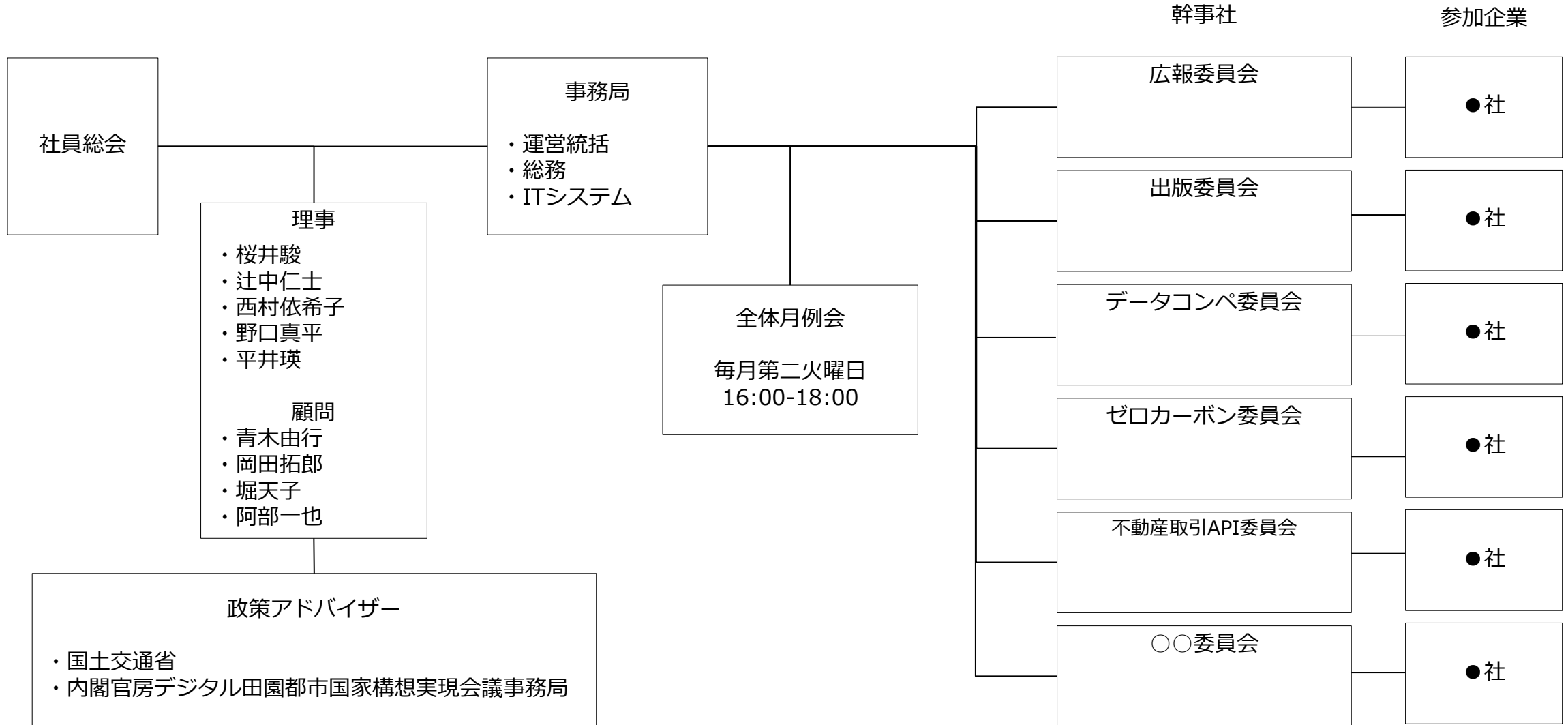
年間を通して月次の勉強会、活動報告会を開催します。定期的の中、小規模のイベントを開催予定です。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月
会員受付	設立時会員受付 3月15日締切			随時入会受付 日割、月割等はなく、4月から翌年3月までの年間会費で一括払いです（いつ入会しても会費は同じです）											
イベント				▲ 設立登記 4月3日	▲ 設立総会 5月上旬	▲ 設立記念 イベント	▲ データ 活用事例		▲ スタート アップピ ッチ		▲ データ コンペ				▲ ハッカ ソン
委員会	ニーズ調査・ヒアリング						幹事企業募集 選定		委員会活動						取り まとめ
研修	ニーズ調査・ヒアリング						研修企画策定			研修プログラム					
その他		公式ウェブ サイト開設		会員限定Slack開設											

4月中旬にメディア掲載、当会として設立プレスリリースを実施し当会の設立について情報が一般解禁されます。

PCDUA運営組織体制

会員企業から構成される委員会活動を中心にして活動を推進しています。



PCDUA月例会

一カ月の各委員会などの活動報告、新規入会会員の紹介、会員企業ピッチを行う月例会を開催します。

月例会の概要

実施助スケジュール（確定）

目的	一カ月の活動報告と会員企業の交流
日時	毎月第二火曜日16:00-17:00
場所	ハイブリッド（FinGATEKAYABA、Zoomオンライン）
内容	<ul style="list-style-type: none">• 当会の一カ月の活動報告• 各委員会からの活動報告• 新規会員紹介• 会員企業ピッチ（2～3社）

毎月第二火曜日16:00-17:00

2023年

06月13日（火） 16:00-17:00

07月11日（火） 16:00-17:00

08月08日（火） 16:00-17:00

09月12日（火） 16:00-17:00

10月10日（火） 16:00-17:00

11月14日（火） 16:00-17:00

12月12日（火） 16:00-17:00

2024年

01月09日（火） 16:00-17:00

02月13日（火） 16:00-17:00

03月12日（火） 16:00-17:00

委員会の運営方針

当会では特定のテーマに応じて年間で5つ程度の委員会の運営を実施します。調査段階として勉強会を設置しその後委員会へ昇格する運用を基本とします。

1) 委員会の設置について

- 年間2回程度会員全体に対して委員会、勉強会の設置希望の需要調査を実施します
- 設置可否についてはテーマや協会リソース、幹事企業の応募状況を総合的に判断し運営委員会にて決定します

2) 勉強会の設置について

- 「人流データ勉強会」を設置し、6月中に第1回勉強会を開催する予定です

3) 委員会の設置について

- 「広報委員会」、「出版委員会」、「データコンペ委員会」を設置します
- 加えて、「カーボンニュートラル（脱炭素）委員会」、「不動産API委員会」の設置を予定しています

4) 勉強会・委員会への参加について

- 「幹事企業」「参加企業」の二つの参加方法があります
- 幹事企業は委員会一つにつき1社から3社程度設置します。会の運営、アジェンダ設定など委員会を主導的に牽引いただく企業となります（会員種別関係なく参加可能、事務局と議論の結果決定します）
- 委員会へ「参加企業」として参加する場合は、議論や成果物作成に積極的に参加頂くこと、傍聴として会に参加頂くこと自由に選択できます
- 会員ごとに委員会参加への上限等はありません

委員会に関する幹事企業や参加企業の公募、詳細については今後随時事務局からご案内させていただきます

広報委員会：第1回広報担当者向け勉強会

大手企業、スタートアップの広報担当者向けに実務的な勉強会と交流会を開催します。

広報委員会の概要

目的	広報担当者のネットワーキング及び専門性の共有
幹事社	株式会社オープンハウス
参加企業	今後公募します
活動内容	<ul style="list-style-type: none">• 広報担当者向け勉強会、交流会• 記者、メディア向け勉強会• 官民広報勉強会

第1回広報担当者向け勉強会

目的	広報組織運営に関する勉強会
場所	株式会社オープンハウス
日時	2023年6月7日（水） 16:00 - 18:30
当日スケジュール	<p>15:30 開場・受付 16:00 開会挨拶 16:05 講師 西村 依希子 株式会社オープンハウスグループ 社長室エバンジェリスト</p> <p>17:00 交流会 18:30 解散</p>

出版委員会：「不動産AI成功パターン（仮）」

当会が主体となり、日経BP社より不動産業務におけるAI活用についての実務書を発行する予定です。

本書の概要

タイトル	不動産AI成功パターン（仮）
想定読者	<ul style="list-style-type: none">AI入門者AutoMLを使って初めてAIをつくる人
発売時期	2023年12月～2024年4月
出版社	日経BP
構成	企画・出版：PCDUA 全体執筆：TBD 事例執筆：会員6～10社程度

イメージ



- 2023年2月に出版された金融AI成功パターンの不動産版という位置付け

出版委員会：執筆者の公募

不動産×AIの取り組みを実施しており、自社事例の紹介、執筆に関心のある企業を公募します。
事務局にて選定を行い、執筆者を決定します。執筆をせずに出版企画をお手伝い頂ける企業も募集します。

AI成功パターンのマトリックス検討



事例執筆の概要

本全体

- 成功パターン：10個
- 1つの成功パターンにつき24ページ
(パターン解説6ページ、事例18ページ)

事例ページ

- 18ページ程度
- 文字数：約1万字
- 図：9点（見開きに図1点入る想定）

選定基準

入門者向けに説明が簡単なもの

想定読者

- AI入門者
- AutoMLを使って初めてAIをつくる

データコンペ委員会：不動産建設データコンペの開催

デジタル人材の育成、データサイエンティストの発掘を目的として当会としてデータコンペの企画・運営を行います。

データコンペ委員会の概要

目的	データサイエンティストの育成
幹事社	今後公募します
参加企業	今後公募します
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> データコンペ エンジニア、データサイエンティストMeetupイベント 学生向けデータサイエンス勉強会

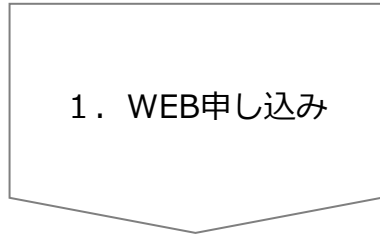
FDUAの取り組み事例



- コンペには学生、金融機関社員など1,658名が参加
- テーマは、住宅ローン延滞者の抑止を目的とした延滞予測モデルの構築
- コンペ表彰式には金融庁長官の中島淳一氏などが来賓として参加

入会手続きについて

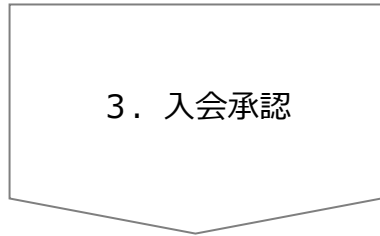
原則オンライン及び電子ファイルで申し込み手続きを実施しています。



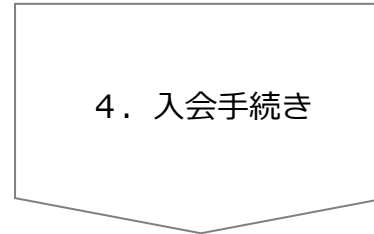
下記申込フォームから必要事項を記入の上お申し込みをお願いします。
申込フォームは[こちら](#)です。



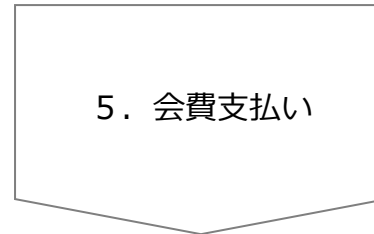
事務局にて申し込みを受け付けし、内容を確認します。



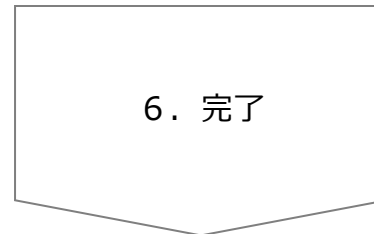
隔週の事務局会議にて審議し、承認します。



入会申込書、請求書、連絡担当者届書等必要書類を電子契約システムや電子ファイルで送付し、手続き頂きます。
請求書の郵送は実施しておりませんので、紙で必要な方はお手元で印刷をお願いします。



特別会員の方は会費の銀行振り込みの入金確認が取れ次第ウェブサイトに掲載します。



お申込みから最大1カ月程度で入会手続きが完了します。

お問合せ

一般社団法人不動産建設データ活用推進協会
事務局

staff@pcdua.org

(担当：藤田)

ご質問、ご相談はメールにて受け付けております。